

2025. 2. 4

大型公共施設建設特別委員会

四ツ池公園運動施設の整備方針に基づく 検討状況について

市民部スポーツ振興課

1.目的

- これまでの整理 ※再掲
- いただいた宿題へのご回答 ※新規提示
- 基本構想における陸上競技場と野球場の整備案

2.これまでの整理（令和6年度）

- 本委員会における報告内容
 - （2024.7.9）現状報告とヒアリング結果の報告
 - （2024.9.3）陸上競技場における整備パターンの整理
 - （2024.9.24）浜松球場の代替球場の可能性について、
既存球場を中心に整理

3.四ツ池公園運動施設の整備方針 ※参考

「四ツ池公園運動施設の整備方針」に基づき、四ツ池公園では、陸上競技場及びサブトラックを整備する。また、静岡県で野球場の新設計画が進んでいるため、野球場は市内の既存球場の機能向上を目的に整備する

整備方針の背景

四ツ池公園運動施設の整備方針

四ツ池公園は、陸上競技場を整備する。

- ・ 浜松市内には、陸上競技場が四ツ池公園以外にないことから、四ツ池公園では陸上競技場を整備する

陸上競技場は、公認2種以上の施設とし、サブトラックを併設する。

- ・ 全国規模の大会の開催と、現陸上競技場では個人利用者が多いことから、市内のアスリートの練習の場としての機能向上と確保のために、公認2種以上の施設として、サブトラックを併設する

四ツ池公園内の現野球場の機能は、静岡県において整備される遠州灘海浜公園篠原地区の野球場で担うこととし、市が整備する野球場は、既存の野球場の機能向上も含め、高校野球の大会が開催できる規模とする

- ・ 静岡県で整備する野球場は、一定の規模及び機能の充実が想定されることから、四ツ池公園内の現野球場の機能は、静岡県で整備する野球場で担うこととする
- ・ また、同市には浜松球場の他にも、複数の野球場があり、同様に高校野球の大会等が実施されるため、野球場の機能向上を目的として、既存球場の改修整備をする

4.条件の整理 ※参考

◆陸上競技場

- 陸上競技場：公認 1 種又は 2 種を新設（1 種には 3 種を併設）、フィールド 2 面を確保
※公認 2 種の場合に、屋内練習場の整備拡充を選択肢とする
- 継続利用 ：常に活動環境が確保できている状況（施設利用休止状況をつくらない）
- 駐車場規模：各案共通で敷地内に、現状規模同等以上の面積を確保
- 自由広場 ：整備後に残る現状付近の範囲で、自由広場を計画
（共有スペース）

◆野球場

- 検討対象は、市内の硬式野球の利用が可能な既存施設
- 整備レベルは、高校野球の大会が開催可能な規模、機能
- 比較のため、同規模の施設を新設した場合の概算費用も積算

5.陸上競技場 (1)公認陸上競技場の規格 ※再提示

主な項目		第 1 種	第 2 種	第 3 種
1 周の距離		400m		
走路	直走路	8レーン又は9レーンとする。長さ115m以上		8レーン、長さ114m以上
	曲走路	8レーン又は9レーンとする		6レーン以上とする
障害物競走設備		必 要		無くても可
補助競技場		全天候舗装400m、 第3種公認陸上競技場	全天候舗装の競技場が あることが望ましい	無くても可
収容人員		15,000人以上（芝生席を含む）、 うちメイスタッド [※] 屋根付7,000人以上	5,000人以上（芝生席を含む）、 うちメイスタッド [※] 屋根付1,000人以上	相当数
更衣室		300人以上収容し得ること	100人以上収容し得ること	あることが望ましい
トイレ・トレーニング 場		必要	無くても可	
トラックとフィールド の舗装材		全天候舗装の施設を要する		
夜間照明		1m220の高さで平均照度1,000Lx程度、 フィニッシュラインは1,500Lx以上	あることが望ましい（移動式可）、 フィニッシュライン付近は写真判定 に支障の無い明るさ	規定なし
インフィールド		天然芝・投てき実施可能な人工芝とする		
浴場またはシャワー室		男女各2カ所以上		あることが望ましい
競技場にて開催できる 競技会の種別の標準		日本陸連が主催する日本陸上競技選手権大会、国民体育大会等の全国規模競技会及び国際的な競技会	加盟団体等が主催する選手権大会及び主要な競技会並びに日本陸連が承認し主催する競技会	加盟団体等が主催する協議会
公認料 （継続の場合半額）		880,000円（税込）	495,000円（税込）	165,000円（税込）

(2) 整備プラン ※再提示

・外構や駐車場、公園整備等の経費は除く

分類	種別	用途	考え方	メイン	観客席	サブ	駐車場(台)	屋内練習場	野球場	概算事業費 (億円)	
A1	公認 1種	多目的	球技場を設置	新設	1.5万人	公認3種改修	600	施設内	－	140	
A2		専用				公認3種改修	680	施設内	－	120	
A参考①		多目的又は 専用	レイアウト変更			公認3種新設	400	施設内	－	140	
A参考②		多目的又は 専用	野球グラウンド設置			公認3種新設	80	施設内	スタンド無	170	
B1-①	公認 2種	多目的	球技場を設置	新設	1.0万人	第2トラック	700	－	－	60	
B1-②			球技場・屋内練習場を設置			第2トラック	520	別棟	－	70	
B2-①		専用				第2トラック	780	－	－	50	
B2-②			屋内練習場を設置			第2トラック	600	別棟	－	60	
B2-③			野球グラウンド設置			第2トラック	400	－	スタンド無	80	
B3-①		専用		大規模 改修		公認3種新設	880	－	－	40	
B3-②			屋内練習場（野球・陸上）を設置			公認3種新設	640	陸上・野球	－	55	

(3) 陸上競技場の整備案 ※再提示

●種別：2種以上（1種又は2種）

※1種の場合でもスタンドは一部仮設も検討

●用途：専用陸上競技場

※インフィールドを人工芝にすることで
多用途の利用が可能

●提案モデル

分類	種別	用途	メイン	サブ	駐車場(台)	屋内練習場	概算事業費 (億円)	考え方
—	公認2種	専用	—	—	200	—	—	—
A2	公認1種	専用	新設	公認3種改修	680	施設内	120	・利用団体からの要望を反映 ・施設内に屋内練習場の確保が可能 ・全国大会の開催が可能だが開催のハードルは高い ・スタンドを一部仮設にする等の効果的な工夫は必要
B2-②	公認2種	専用	新設	第2トラック (既存活用)	600	別棟	60	・第1種と同等の改修をすれば選手権大会などの開催が可能 ・別途、屋内練習場を設置

● 1種案（A2案） ※再提示



●2種案（B2 - 2案）※再提示



(4) 駐車場等の整備に係る概算 ※新規提示

- 平面駐車場整備: 2万円/m²

- ※四ツ池公園運動施設現況調査報告書(H29.3)による

- ※25m²/1台→50万円/1台

- 自由広場整備: 1万円/m²

- ※類似事例単価による

- 公園改良整備: 2千円/m²

- ※類似事例単価による

①公園の外構工事費 ※新規提示

1 種案：専用 陸上競技場、駐車場680台

外構内訳	面積 (㎡) 【A】	工事内容	工事費 (万円/㎡) 【B】	合計工事費 (億円) 【A×B】
駐車場関連 ※駐車場／バス駐車 ／関連道路を含む	20,000	・ アスファルト舗装 ・ 雨水排水施設 ・ サイン／白線引き ・ ゲート／柵／バリカー等	2.0	4.0
自由広場	5,000	・ 芝植栽／アンツーカー舗装 ・ 雨水排水施設 ・ ベンチ／フェンス等	1.0	0.5
残り外構	35,000	・ 植栽／舗装の補修 ・ 雨水排水施設の補修 ・ 工作物／サイン改良等	0.2	0.7
合計				5.2

1 種案＋周辺整備事業費：1 2 0億円＋5.2億円 ＝ 1 2 5.2億円

②公園の外構工事費 ※新規提示

2種案：専用 陸上競技場 ＋ 屋内練習場（陸上）、駐車場600台

外構内訳	面積 (㎡) 【A】	工事内容	工事費 (万円/㎡) 【B】	合計工事費 (億円) 【A×B】
駐車場関連 ※駐車場／バス駐車 ／関連道路を含む	16,000	・ アスファルト舗装 ・ 雨水排水施設 ・ サイン／白線引き ・ ゲート／柵／バリカー等	2.0	3.2
自由広場	6,000	・ 芝植栽／アンツーカー舗装 ・ 雨水排水施設 ・ ベンチ／フェンス等	1.0	0.5
残り外構	43,000	・ 植栽／舗装の補修 ・ 雨水排水施設の補修 ・ 工作物／サイン改良等	0.2	0.8
合計				4.7

2種案＋周辺整備事業費：60億円＋4.7億円＝64.7億円

●静岡県内の公認1種・2種陸上競技場の位置づけ



●サブトラック整備について

	公認3種(観客席なし)	非公認(観客席あり)
新設	20億円	—
改修	10億円	5億円
解体	10億円	—

(5) 2種(1種拡張)案 ※新規提示

- ・メイン: 公認2種専用を拡張により1種対応が可能
- ・サブトラック: 既存の公認2種を公認3種へ改修



(5) 2種(1種拡張)案 ※新規提示

- ・一部スタンドを拡張することで、公認1種競技場として対応可能な案
- ・メイン競技場として、公認2種陸上専用競技場を新設、現陸上競技場を公認3種競技場のサブトラックとして利用
- ・基本的なメリットや整備内容は1種案と同じ。1種案とは異なり、バックスタンド部分はグランド・公園と同じ高さのスタンド拡張エリアとする。これにより、メインスタンドを除いて、競技面と公園はシームレスに繋がり、一体感のある競技場計画が可能
- ・スタンド拡張エリアは、駐車場や自由広場として活用することが可能
- ・ただし、公認1種競技場とする場合、拡張に一定の費用がかかる。

(6)陸上競技場の整備案と比較 ※新規提示

配置図	1種案	2種案	2種(1種拡張)案
			
メイン競技場 規格/用途	公認1種/9レーン/陸上専用	公認2種/9レーン/陸上専用	公認2種(1種)/9レーン/陸上専用
メイン競技場 収容人数	15,000人 うち、屋根付スタンド:9,000人	10,000人 うち、屋根付スタンド:5,000人	7,000人(15,000人) うち、屋根付スタンド7,000人
スタンド拡張 エリアの有無	なし	なし	あり(8,000席)
メイン競技場 建物面積	約30,000㎡	約18,000㎡	約24,000㎡
サブトラック	公認3種	非公認	公認3種
屋内練習場	メイン競技場内に設置	別棟として設置	メイン競技場内に設置
駐車場台数	680台	600台	640台

※ 数字は現時点での想定概算であり、今後の物価推移や計画進捗に伴い変更となる可能性がある

※ 2種(1種拡張)案の括弧書きは、拡張時を示す

(7) 陸上競技場の整備案と比較 ※新規提示

	1種案	2種案	2種(1種拡張)案
配置図			
メイン競技場 新設	110億円	50億円	85億円(10億円)
サブトラック 改修	10億円	非公認のため当該整備なし	10億円
屋内練習場 別棟新設	メイン競技場内に設置するため 当該整備無し	10億円	メイン競技場内に設置するため 当該整備無し
新設・改修費 小計【A】	120億円	60億円	95億円(10億円)
既存施設 解体費用【B】	35億円	35億円	35億円
外構費用【C】	5.2億円	4.7億円	4.8億円
概算整備費 合計(A+B+C)	160.2億円	99.7億円	134.8億円(10億円)
その他費用	調査・設計等に係る費用として、概算整備費合計の10%が追加費用として想定		

※ 数字は現時点での想定概算であり、今後の物価推移や計画進捗に伴い変更となる可能性がある

※ 2種(1種拡張)案の括弧書きは、拡張時を示す

6.野球場 ※再提示

高校野球の大会が開催可能な規模、施設としての機能向上を目的に、硬式野球の利用が可能な市内の既存球場(浜北球場または天竜球場のいずれか)を改修整備。浜松球場と比較して不足する機能を改修工事する方針

整備候補球場の概要

通称	浜北球場	天竜球場
外観		
所在地	浜名区宮口391番地の5	天竜区船明2660
完成年	平成元年	平成5年
収容人数	合計5,430人 (内野席:2,430人)	合計4,128人 (内野席:2,628人)
本塁からの距離	- 両翼:91m - 中堅:120m - バックネット:18.4m	- 両翼:95m - 中堅:120m - バックネット:18.5m
面積	約12,579㎡	12,648㎡
駐車場台数	普通217台、大型0台	普通200台、大型約10台
概算整備費※1	26億円	30億円

球場整備メニュー案

運営諸室の増築(2,000㎡)
メディアエリア増設/TV中継対応(50m)
選手福利諸室の増設
ブルペンの増設
観客席の増築(合計10,000人規模)
内野観客席の増築(5,000人規模)
外野観客席の増築(5,000人規模)
照明灯の設置
電光掲示板の設置
公認野球規則を満たすフィールド規模
駐車場の増築
大型バス駐車場の整備(10台)
ウォーミングアップスペースの設置等

【参考】新設整備： 整備費85億円＋土地購入費

(1) 考察 ※再提示

- 浜北球場及び天竜球場いずれも、改修により代替施設として活用は可能
- 球場に限った条件比較では、浜北球場が優位
- ただし、既存の浜松球場と比較した場合は以下について留意が必要

【留意点】

- ・ 都市部からの公共交通機関によるアクセス
- ・ サブグラウンドがない（ウォーミングアップスペースで対応）
- ・ 駐車場の分散化 など

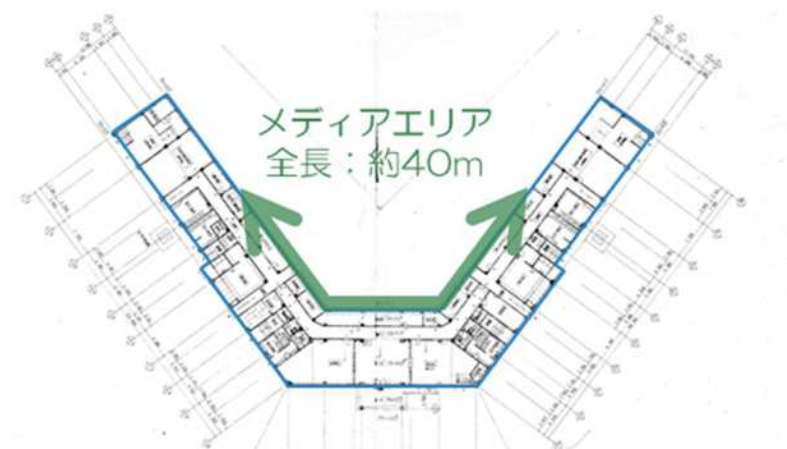
(2)各球場におけるサブグラウンドの設置 ※追加

① 浜北球場

【図表 浜北球場周辺の施設配置図】



【図表 浜北球場のメディアエリア】



◎敷地面積の都合上、現第二球場と同等の施設確保が課題

② 天竜球場

【図表 天竜球場周辺の施設配置図】



【図表 天竜球場周辺のメディアエリア】



◎現第二球場と同等の施設確保は可能

7. 今後の検討課題（基本計画以降）

陸上競技場については、各施設の設計・機能をより詳細に検討した上で、各施設の使い方を精査する。また、野球場については、改修候補球場から改修する球場を絞り込み、より詳細な球場の設計・機能を検討する

今後の主な検討課題（一部抜粋）			検討課題の概要
陸上競技場整備	メイン競技場	必要な諸室の種類と規模	メイン競技場内の諸室について、公認規則や大会運営の効率性を踏まえて必要な諸室の種類と規模を検討する
		必要機能の配置検討	競技場の使い方や活動を踏まえて、適切で効率的な機能の配置を検討する
	サブトラック 屋内練習場	必要機能と規模	各施設の使い方や活動、利用者ニーズを踏まえて、適切な機能と規模を検討する
	その他ハード面	附帯機能	稼働率向上と収益向上に資する附帯機能を引き続き検討し、精査する
		ゾーニング・動線計画	敷地全体の使い方や活動を踏まえてゾーニング、動線を検討し、配置計画を精査する
	ソフト面	各施設の使い方	撤去後のメイン競技場新設期間中に、既存競技場の管理運営を、既存事業者とPFI事業者のどちらが担うかを精査する
野球場整備	野球場	必要な諸室の種類と規模	野球場内の諸室について、各種大会利用を想定して必要な諸室の種類と規模を検討する
		必要機能の配置検討	野球場の使い方や活動を踏まえて、適切で効率的な機能の配置を検討する
	その他ハード面	附帯機能の検討	野球用の屋内練習場を中心に、野球場と隣接する施設の必要性と規模を検討する
		ゾーニング・動線計画	敷地全体の使い方や活動を踏まえてゾーニング、動線を検討し、配置計画を精査する
	ソフト面 (事業スキーム)	調達方式・調達期間	本改修整備に適した事業方式及び調達期間を検討する

8.次回の協議内容

①民間活力の導入可能性について

- 手法等基本事項の整理
- 事業者へのヒアリング結果
- 附帯事業について
- VFM ※現時点のもの

②事業スケジュール（行程）について

- 陸上競技場
- 野球場

③整備案別パースの提示

【参考】今後の工程

【STEP2】

整備方針の検討

- ・他自治体の状況やニーズ調査（アンケート）、敷地内の配置検討等を踏まえ、陸上競技場の規格や規模等の整備方針を検討予定。
- ・また、野球場についても高校野球大会の開催を前提とした整備方針の検討を行う。
- ・なお、整備方針の検討については、以下の項目を行う。
 - 敷地内全体のゾーニング
 - 動線計画
 - 施設配置
 - 各整備ケースのメリット・デメリット

計画図の作成

- ・再整備後の配置図、全体のゾーニング図、整備イメージパース等を作成。

【STEP3】

事業スキーム検討

- ・2回の民間ヒアリングも踏まえ、事業スキームの検討を行う。その際は、いくつかのスキームケースを検討し、定性評価を行う。

民間ヒアリング（第2回）

- ・第1回ヒアリングの結果を踏まえ、事業スキームの詳細検討を行い、改めて民間意見を収集予定。
- ・対象企業については、プラットフォームを活用し地域企業からの意見も収集予定。

事業手法評価

- ・事業手法に関して民間事業者ヒアリングを含む定性評価及び定量評価を加味し総合評価を行う。

事業スケジュールの作成

- ・陸上競技場、野球場、付帯施設に係る全体の工程スケジュールの作成を行う。